

会場③—2山ノ内町立南小学校6年生 発表を見た方からの感想

- きれいな水とは何かという疑問から志賀高原のきれいな水を守る、そのために何ができるのか学校内だけでなく、学校外との関わりから考え方を広げたり、考えたりできたのは本当にすごいと思いました。
- 様々な場所に出向き積極的に活動をされていて、コロナ禍でも子どもたちにとって素敵な体験・経験ができていると思います。学校、先生方が一生懸命感染対策しながら工夫され、調整されているかと思っています。南小の子どもたちは先生方や地域のみなさんにとても恵まれているんだなと感じました。
- 素敵な活動について発表ありがとうございます。きれいな水の学びのために5年次の米作りから繋がっているのは、学びの追究になるので良いと思いました。エコバックを利用するなど、1人1人が日常生活でやることを決めていて責任感も付けれると思いました。
- まず自分たちの自分の住む地域の特性やブランド米など特産について理解し、その原因について考え、それを未来に繋げる、残すべきであるという考えにいたるところが取り組む姿勢として素晴らしいものではないかと思いました。
- 「きれいな水とは何か」というテーマから、信州大学の研究を体験したり実際に水質調査をしたりなど、様々な経験に繋げることができていて良かったと思います。そういった体験があるからこそ、「この水を守りたい」という新たなテーマが生まれて学びを深めることができたと思います。
- 皆さんが山ノ内、志賀高原の”水”から多くのことを学んだ事がよくわかりました。5年生の時に作ったお米がなんで賞を取れたのか、そこから水について着目したのがなるほどなあと感じましたし、学校の活動でそんなにおいしいお米を作ることができた5年生の時の活動も個人的にはとても気になりました。水がきれいだという実感を持っていても、皆さんが行ったようにパックテストをやって具体的な数値できれいさが分かるとその実感がより強く持てますよね。いろいろな場所の水質について科学的な見方から深く考えている様子が伝わってきました。また、皆さんが活動を進めるうえでいろいろな人とたくさん交流してきたということがわかりました。いろいろな人と関わることで自分たちの地域の良さや他域との比較と見方が広がっていてそういったところにも交流の良さ、大切さを感じられました。毎日飲んだり、生活でたくさん使っている水ですが皆さんの発表を聞いて自分たちが取り組まなければいけない課題もあると気が付かされました。とても勉強になる発表でした。ありがとうございました。
- 美味しいお米を作る上での川の水に注目した活動であり、非常に面白いと思った。稲作に焦点を当てている活動は多く見かけるが、水にまで視野を広げている活動事例は初めて目にした。また地域や大学などと連携して活動する姿にも感心した。
- 生活排水がどのように処理されているのか、ポイ捨てされたレジ袋やその他のゴミはどこへ行くのか、知識として知っていたり、話では聞いていたりするかもしれないけれど現実味が感じられないと思います。しかし、みなさんは実際にその光景をその目で確かめてとても衝撃を受けたんだと思います。そこで、その問題を放っておくのではなく、他の人々にもこの問題を現実の問題として認識してもらいたい、と考えて行動していることはとても素晴らしいと思いました。私も微力かもしれませんが、これまで通りポイ捨てをしない

ように意識したり、エコバッグを使ったりなど心掛けていきたいです。これからも頑張ってください。応援しています。

- 米作りや修学旅行などの活動から、水に関して、大学や志賀高原など様々な場所に赴き、活動を見学することで、施設の考えなどを直接知ることができる活発な学習だと思いました。直接水に関する被害や問題を目の当たりにし、それを解決しようとする活動に触れることができるのは今後の水環境を守るための考えの基となる貴重な経験だと思います。
- 綺麗な水を調査するという事で、これほどまで突き詰めた実践を行えることは本当にすごいと思いました。水に関して研究している人や、先進的な取り組みを行っている専門家の方々と交流できる機会があったことは、子どもたちの中に新たな視点や考えが生まれ、さらに探究したいという子どもたちの主体的に学びに向かう姿勢を育むことができたと感じた。
- 雪白米という山ノ内町の地域素材から、工学部の研究を見学する過程を経て、水をきれいにしたいという課題まで、児童の探求心を主体として活動を繋げている点が素晴らしいと感じました。「山ノ内町の良さを生かしてきれいな水を残していきたい」という児童の想いは、導入部で地域素材を扱っていたことから生まれたのではないかと思います。
- 5年生の学びと関連し、そこから発展した学びを科学的な視点を持って調べている点がとても面白いと感じました。また、実際に川の上流に見に行った時にゴミが落ちていたり、その場所を大切に思い、きれいにしたいという心を持つことの大切さを学ぶことができたので、きっと将来周りの環境を大切にしてくれる大人になってくれるのではないかなと思いました。
- 水をテーマに資源を大切にすることを学んでいく児童の姿が手に取るように分かりました。実際に研究している現場や限ついに足を運ぶことで子ども達の当事者意識も育てられていると思います。飲用できる水などは枯渇が心配されている資源です。これからも守っていきましょう。
- 発表を聞いて、山ノ内町立南小学校6年生の素晴らしいところは、現状や出てきた答えに対し、常に「本当にこれでいいのか？」と批判的に考える力が身についているところだと感じました。調べて「そうなんだ」でとどまるのではなく、本当に水は綺麗なのか？看板だけでは水を守ることはできないのではないのか？町の総合計画はこのままでいいのか？と追究したからこそ様々な人との交流や川上村の良さが見えてきたのだと思います。素敵な実践発表ありがとうございました。
- 水がきれいかどうか・科学的に調べたり、インターネットを活用し、山ノ内町の取り組みを調べたうえで、きれいな水を残していくためにどのようにするべきか自分事として、より探求的に調べているのがすごいと感じました。山ノ内町の強みであるきれいな水を残すことの大切さを大人たちに伝え、実現できれば良いなと思いました。
- お米の食味コンクールで金賞をとった経験から、「きれいな水」に追求する姿勢に感心しました。私は、信州大学のために東京から長野に来ましたが、「水がきれい」と思いましたが、「きれいな水」とは何か考えたことはありませんでした。この「きれいな水」を研究した経験から、ぜひとも未来や下流部に残してほしいと思いました。水は、様々なものに利用できて、「きれいな水」は長野県の分化の1つだと思います。

- 皆さんが作ったお米が金賞を獲得したのはすごいですね。私は神奈川出身なので皆さんの身近に志賀高原という豊かな自然があってとてもうらやましく感じました。身近な自然について考える授業を通して学んだことを忘れずに未来へ語り継いでいってください。長野に自然は皆さんに任せました！
- 私は安曇野市出身なので綺麗な水を守りたいと日ごろから思っており、テーマが「水」ということに物凄く興味を持ちました。水を守るために一人一人がどのように行動していくべきか、何ができるかをまとめることでまずは自分から動こうという意識が芽生えたのかなと思います！
- 「きれい」とは抽象的なことばであるがみんなで意見を出し実際に外へ出て触れて考える、ということはとてもいいことだと思いました。信州大学へ来て研究に触れることや川上村や飯田市と交流することで学びが深まったという経験はとても大切だと思いました。学びは学校だけではなく日常にあるということをお忘れしないで欲しいと思いました。
- 自分たちが米作りをしたことをきっかけに、自分たちの暮らす地域の水に関心を持ち、その水がどこから来ているのか、水を美しいままに保ち続けるにはどうしたらよいかを考察し、地域の水を守っていかうという姿勢が素晴らしいなと思いました。これからも水を美しく守っていくという活動を頑張ってください！
- まず、お米がおいしく作れたことに満足せず、なぜおいしいお米が作れたのか分析していたところに、皆さんの向上力を感じました。また、きれいな水について調べ、守るために、実際に現地を訪れたり、他の地域と交流したりしている皆さんの姿を見て、皆さんがこの問題にとっても真剣に取り組んでいることが伝わってきました。私自身、長野県の水はきれいだというイメージがあったのですが、私たちが何も意識せずに生活を続けていたらきれいな水を保つことはできないと感じ、少しずつ意識を変えていく必要があると考えるようになりました。とてもためになる発表でした。
- たくさんの活動をする中で、自分達で山ノ内町の「水の保全」についての課題を見つけ、次から次へと様々な活動を行い、解決策を考えていくという皆さんの活動は、とても素晴らしい事であると強く思いました。山ノ内町の志賀高原の水をこれから先も守っていくために、皆さんの活動はとても役に立つものであると感じます。小学校を卒業した後も、自分達の町を大事にしてほしいと思います。ありがとうございます。
- 「きれいな水」とは何かから考え、パックテストを行い水質を数値でみるというのは、現状を知り水質を向上させていくうえで具体的な指標となるためわかりやすくいいと思いました。自身の地域と他の地域の取り組み路知ることによってそれぞれのよさや欠点を知り、最も適した方法が見つかるといいですね。
- 自分たちで作ったお米が金賞をとれたのはなぜだろうと考えて、水がきれいだからなのではないか、という意見が出たというのは非常に良い着眼点であるなど大変関心いたしました。私が小学生の頃、こうした発想に至っただろうかと考えると、おそらく至っていないのすごいなと思います。水質検査を行うために志賀高原まで行ってみたい、非常に面白そうな活動をされており、私もこんな活動をしてみたかったなと思いました。とてもよい発表でした。ありがとうございます。

- 「きれいな水とは何か」について私も考えさせられました。今の水の状態をきちんと知り、どう改善しようかを考えているのがすごいと思いました。自分たちの手本となるところがどこか考え、実際に川上村に話を聞いているのが行動力があって良いなと思いました。山ノ内、川上村の良いところ、悪いところがそれぞれあるのを学べていてすごいと思います。色々なところと交流しているのは、新たな学びにつながるのも良いと思いました。